

広島県立尾道北高校 陸上競技部

第2号
H28年6月

第69回 広島県高等学校対校陸上競技選手権大会(県高校総体)

大会結果報告

今年度も県総体の季節がやってきました。広島県高校総体で6位以内(競歩、混成は4位)に入ると、6月に岡山県で開催される中国総体の出場権が獲得できます。今年は、男子9名、女子13名が県総体に出場し、3種目で4名が入賞する事ができました。それぞれが目標を掲げ、精一杯競技に臨みました。その中で力を出し切り、嬉しい思いも、悔しい思いも、それぞれが噛み締め、みんなで共有できた3日間でした。

初日の女子やり投げで3年生の楠汐里さんが見事優勝し、チームに勢いをつけてくれました。5000m 競歩では、2年生の村上愛佳さんが粘りのある歩きで見事5位に入賞しました。

2日目は2年生の岡野和奏さん、砂田紫音さん、1年生の猪原詩音さんが出場し、トリプル入賞、あわよくば3人中国大会、と臨みましたが、結果は岡野さんが3位、砂田さんが5位と同一種目2名の入賞となりました。猪原さんは初の県総体で力を出せず予選敗退となりましたがこれからは期待したいと思います。

3日目は昨年の県新人で3位に入っている幸谷君が出場しましたが、痛めていた踵の痛みが響き悔しい予選落ちとなりました。

3年生の多くがこの県総体で競技に一区切りをつけます。これまで努力してきたことは、これからに生かして欲しいと願っています。陸上競技部員は先輩からの思いを受け継ぎ、これからもしっかりと頑張っていきます。

中国大会へは女子やり投げ、女子走幅跳2名の3名で臨みます。今年は中国総体。チーム全員で中国大会へ向けて練習に取り組んでいきたいと思ひます。

平成28年5月27日(金)～5月29日(日) 於:エティオンスタジアム



県総体の振り返り(入賞者)&中国大会の抱負

	私は、高校最後の県総体で、不安な気持ちやプレッシャーをすごく感じていた。しかし、仲間や多くの方々から応援されたり、励まされたりしたおかげで、念願の優勝を掴みとることができた。中国総体では、出場できること、期待していただけることへの感謝を忘れず、必ずインターハイへの切符を勝ち取りたい。応援よろしくお願いします。(楠汐里)
	私は今回の県総体で自分が納得のいく記録が出せなかったことや、注意不足で貴重な2本を無駄にしてしまったことを後悔している。しかし、その反面、自分に足りないところや注意すべきことが分かったので今後につなげたい。中国大会では、5m55以上を跳んで、入賞したい。いつも自分に自信が持てず、記録以前に気持ちで負けてしまっている。だから、記録でも気持でも負けないように頑張りたい。(岡野和奏)
	今回の県総体では、とても緊張したけど、自信を持って跳んだら自己ベストを出すことができた。技術面や精神面を支えてくださった、たくさんの仲間、先生のおかげだと思う。中国大会に出場するのは初めてだけど、インターハイを目指して自分の納得のいく記録を出せるように、これからも日々の練習を頑張りたい。(砂田紫音)
	私は自己ベストを出して5位に入賞することができた。でも中国大会出場がかなわなかったのが悔しい。今回の大会では、後半の粘りで負けてしまった。しかし、自分のベストを尽くせたことは自分にとって大きな強みとなった。これからこの経験を活かして日々の練習を頑張りたい。(村上愛佳)

結果(入賞のみ)

女子 5000mW	第5位	村上 愛佳(2)	28.32.11	因北中学校出身
女子走幅跳	第3位	岡野 和奏(2)	5m27(+1.2)	栗原中学校出身
	第5位	砂田 紫音(2)	5m22(+0.4)	広大附属三原中学校出身
女子やり投	第1位	楠 汐里(3)	39m25	向島中学校出身
女子総合	第8位	22点		
女子総合フィールドの部	第2位	18点		